

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

明日は秋分の日、前後3日間を合わせた七日間が秋のお彼岸。暑さ寒さも彼岸までと言われている。確かに過ぎやすい時間帯を感じ

じるが、日中の日差しが強さは真夏と同じだ。多くの稲田で収穫作業が本格化しているが、例年以上に家族総出で収穫する現場に出会う。家族の、ほのぼのとした現場に心温まり、きっと新米の味も一段とおいしくなるの

だろうと思いたい。先週、白馬村退職者互助会の企画した「静岡大河ドラマ館と国宝・久能山東照宮」の研修親睦会に参加する。コロナ感染症で4年ぶりの実施に参加人員が心配されたが22名が同じ楽しい時間を過ごすことができた。来年4月からバス・

タクシーといった公共交通分野やトラック物流業界において労働時間に関する規制が変更になる。いわゆる「2024年問題」が、私達の生活にも大きな影響を及ぼすことが懸念され、遠距離の日帰り

コロナがら類に移行してバス旅行を楽しむたい状況だが、バス事業の置かれた状況では、大阪富田林市など4つの市町村14路線で走る路線バス「金剛バス」は、12月20日にバス事業を廃止、社長は

2024年問題の対応が地域の今後を問うている

旅行がどうなるのか心配になる。この日も早朝白馬を出発したため、途中でドライバーが交代。今回は添乗員資格があるバスガイドが同行し心温まる対応で旅がより楽しいものになった。

「財政支援は問題ではなく、運転手の人材不足」が原因と発表。また建設業の倒産も多発、帝国データバンクは「都市部の大規模開発などに職人が引き抜かれるケースが増え、地方では業者の淘汰や

人材不足により「家が建てられない」「道路の修繕が進まない」といった事態が多発する可能性が高まっていると指摘している。人手不足社会での地域経営の在り方が今後ますます重要視されていくの

だろう。今回の旅も大河ドラマ「どうする家康」のファンでにぎわっていた。徳川幕府の祈願所と定められた浅間神社の高さ25mで全国唯一無比の大建築の大拜殿、家康がしるなる直前に「遺骸は久能山に埋葬すること」を遺命とした久能山東照宮からは、当時最高の建築



限研吾さん設計の日本平・夢テラスでの参加者の記念写真は旅が楽しいと伝えている

技術・芸術の世界を堪能することができた。参加者から「また来年も旅を企画して」と笑顔で気持ちを伝えられた。やはり旅すること

で感じられる体験が大切だと強く心を打った旅でもあった。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)